

あじさいの里の茶畑を訪ねて

開成町まちづくり情報特派員 石崎雅美



上島地区のあじさいの里の一角に、青々とした畝が並ぶ茶畑があるのをご存じでしょうか？お茶畑は山間地にあるものというイメージだった私には、平地の、しかも水田のとなりという光景はとてもユニークな印象です。水田に囲まれた開成町の茶畑。どのようにお茶づくりをしているのかを取材しました。

○水田からの転換 ゼロからのスタート

5月の中旬、茶摘みが行われている茶畑でお話を伺ってきました。この茶畑は、「米茶（マイティ）開成営農組合」というグループが数年前から手がけているものです。

米茶開成は、もともとこの場所の水田で米を栽培していた農家4人ではじめたグループです。お米もお茶も手がけるという意味から米茶（マイティ）開成と名付けたそうです。水田だったところを平成16年から4年をかけて茶畑に転換し、現在は、1・9畝の茶畑で「やぶきた」、「さえみどり」、「つゆひかり」の3つの品種のお茶を栽培しています。

お米づくりにかけてはプロ



米茶開成組合長の
米山広さん

でも、お茶はゼロからのスタートだったという米茶開成のみなさん、県の技術センターや茶業センターの指導を受けながら手探りでお茶の栽培をはじめました。お茶づくりは、水田や一般の畑作などとも違い、土壌のつくりかたも一から覚えたのだとか。

何キロになるのか？ それも見当がつかなくて大変でした」と当時を振り返っていました。

○効率よい作業が可能な平坦地の茶畑

平坦な開成町の茶畑は大型機械が導入できるので、効率よい作業が可能だそうです。また、人が乗って操作する「乗用摘採機」は、お茶の刈り取りだけでなく農薬の散布もできると聞いて驚きました。米茶開成の茶畑は、畝の形状や間隔を機械にあわせてつくっており、畝と畝との間隔がせまく、畝自体もかまぼこ型というよりは平らな型になっています。一見してどこも同じにみえる茶畑が、使用する摘採機によって形が違うことを知りお茶栽培の奥深さを垣間

見た気がします。この茶畑は、昨年、「第44回神奈川県茶園共進会」の成木部門で2等（神奈川県農業共済組合長賞）を受賞したそうです。

○原発事故の被害を越えて

次第に軌道に乗りつつあったマイティ開成のお茶栽培も昨年は、福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の影響を受け、出荷することができませんでした。開成町のお茶は放射性物質の基準値を越えなかったため、出荷停止とはなっていないでしたが量が少なく出荷できませんでした。30キロのお茶が入った



茶畑の中を進む乗用摘採機

袋をトラック3台分も廃棄したときは、「涙がでる」思いだった（米山さん）といっています。今年は、5月16日に一番茶の生産・出荷を予定していた県内13市町村のお茶の放射性物質検査が終了し、すべて基準値を下回り、開成町の一番茶も無事に出荷することができたとのことです。

○お茶の収穫はスピード勝負

取材に伺った日は、お茶摘みの最盛期。お話を伺っている間に、摘採機にとりつけられた袋がみるみるうちにお茶の葉で一杯になっていくのに驚きました。なんと、50キロを5分ほどで収穫できるのだそうです。摘み取りが始まって30分ほどで、この日最初のお茶の葉がトラックにのせられ製茶工場に運ばれていきました。

地元開成町でもお茶が栽培されていることを知り、日ごろなげなく口に入っている足柄茶がますますおいしく感じられるようになりました。



「学力向上」をめざして

文命中学校へ学習支援員を配置

問 教育総務課 ☎8255221

町教育委員会では、「学力向上推進委託（人材派遣）事業」として、平成23年4月から特定非営利活動法人ティーチフォージャパン※1（T F J）と事業契約を結んでいます。この事業はT F Jの教師派遣プログラムを活用し、「一人ひとりの子どもの可能性が最大限活かされる社会」を実現するため、優秀で意欲のある学生や社会人経験者を学習支援員として文命中学校に配置することで、生徒の学力向上をめざすものです。

学習支援員の取り組み

- ①ティーム・ティーチング※2としての授業補助
- ②放課後や学期間休業時における学習指導
- ③学力向上を目指す生徒の個別指導等を実施しています。

昨年度は、学習支援員として大学院生と民間企業経験者の計2名を配置し、次の取り組みを行いました。

この取り組みに対する生徒



昨年度の個別指導の状況

自ら学ぶ意欲のある生徒を増やしたい

この事業は2年目を迎え、昨年度に見えてきた課題等を踏まえ、さらなる学力向上をめざし、取り組んでいます。

今年度は学習支援員として民間企業経験者の新原大輔さんを配置しています。

新原さんは、授業補助や個別指導だけではなく、野球選

手やプロアスリートの技能調整やサポートをした職務経験を活かし、野球部の指導を補助しています。

新原さんは「やらされるからするのではなく、自主的に勉強する生徒を一人でも増やしたい」と話していました。

教育委員会ではこの事業を実施しながら、引き続き、学力向上を含めた教育の充実に向けて取り組んでいきます。



今年度派遣の新原さん

※1 平成20年7月設立。団体 Teach for Japan は優秀で情熱のある人材を教育の世界に投入すること等を通じて、子どもたちによりよい教育の機会を提供することを目的とする。

※2 複数の教師（学習支援員）が協力して行う授業方式の一つ。略称「TT」。

平成24年度開成町民活動応援事業助成団体が決定

問 自治活動応援課 ☎840315

自主的に行う町民活動を支援することから、協働によるまちづくりの推進を目的に、創設された「町民活動応援事業」の助成団体が決定し、今年度は9つの事業が採択されました。

	団体名	事業名及び内容
1	おたっしや会	高齢者による健康体操推進事業 (健康体操を通して高齢者の健康増進モデル事業を展開します。)
2	あしがらグリーンファーム	観光情報開成町版Webサイト構築事業 (観光の視点から町の魅力を紹介するウェブサイトを構築します。)
3	防災について勉強する会「たんぼぼ」	女性の視点による防災意識普及事業 (女性の視点から防災を考え、非常食レシピの考案や体験型の教室を開催します。)
4	ソウセイカフェ	空き工場を活用したアート&カフェ開設事業 (あじさい祭期間に、地域のアート・カフェを開設し、イベントの活性化を図ります。)
5	牛島自治会福祉部	地域つながり推進事業 (地域のつながりや助け合いの心を醸成するイベントを開催します。)
6	開成ゆる体操の会	ゆるウォーク推進事業 (健康増進モデルとして、ゆるウォーキングの普及・啓発を図ります。)
7	夢のある映画を観る会	夢のある映画上映事業 (映画を通して町づくりを考え、命をテーマにした作品を上映し、町民の絆を深めます。)
8	開成町飲食店組合	新商品の開発・普及による地域活性化事業 (食の開発を通して、町興しや飲食店の活性化を図ります。)
9	酒匂川ネットワーク会議	「E Vバス i n開成」開催事業 (イベントを開催し、環境に配慮した町づくりの考え方を醸成します。)